

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和4 年 10 月 3 日

設置・運営主体	戸田市		
設置主体	戸田市		
経営主体	同上		
事業所名 (施設名)	戸田市立上戸田南保育園	種別	保育所
所在地	〒 335-0023 埼玉県戸田市本町5-11-11		
電 話	048-444-4080		
FAX	048-442-3447		
Email	endo.komoko@city.toda.saitama.jp		
URL	https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/252/hoikuen-hoikuen-list.html		
施設長氏名	遠藤 智子		
調査対応担当者	遠藤 智子 (所属、職名：上戸田南保育園 園長)		
利用定員	97 名	開設年	昭和 49 年 10 月 1 日
理念・基本方針			
<p>保育理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私達は、子ども達がゆったりと安心して過ごすことができる環境を整え、健康で明るく生き生きとした活力のある子どもを育てる <p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と協力しながら、丈夫な体と元気に遊べる子どもを育てる ・思いやりがあり、友だちなど大切にし、優しい心を持つ子どもに育てる ・のびのびと、自分を表現できる子どもに育てる ・最後までやり遂げる力を持つ子どもに育てる ・地域に開かれた保育園づくりをする 			
開所時間 (通所施設のみ)	平日 : 7時00分～19時00分 土曜日 : 7時30分～18時30分		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		
1歳児	16	16	1		
2歳児	18	18	1		
3歳児	19	15	1		
4歳児	19	18	1		
5歳児	19	18	1		
計	97	91	6	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		13人			
うち	保育士	13	人	保健師・看護師	0人
	栄養士・調理員	委託	人	その他（	）人
非常勤職員数		11人	（常勤換算	0.6	人）
うち	保育士	8人	（常勤換算	0.65	人）
	保健師・看護師	0人	（常勤換算	0	人）
	栄養士・調理員	人	（常勤換算		人）
	その他（ 無資格、パート職員、 パート事務員	）	3人	（常勤換算	0.49人）
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>					
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	1人	非常勤：	0人
	退職	常勤：	2人	非常勤：	2人

(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢	37.3 歳	(37.3 歳)
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数	15.7 年	(15.7 年)
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。		

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	2500円/月・250/日
休日保育		
障害児保育	○	—
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）		
アレルギー等対応給食	○	—
その他（事業名： _____）		
(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。		

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 4 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

_____ 0 人

・ボランティアの業務

--

【実習生の受け入れ】

・令和 4 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士	人
介護福祉士	人
その他	4 人

【施設の状況に関する事項】

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	629.6 m ²
	児童 1 人あたり 6.5 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計 ÷ 定員)
(2) 園庭面積	873 m ²
	児童 1 人あたり 12.6 m ² (計算式: 園庭面積合計 ÷ 定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築 (含大改築) 年	昭和 53 年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・日頃から丁寧にコミュニケーションをとるよう心掛け、些細なことでも話してもらいやすい関係性を築いている。また、日々の送迎時の会話、連絡ノートでのやりとり、個人面談、懇談会、行事後の感想欄、ご意見箱、保護者連絡会からの意見を保護者会長より丁寧に聞き取る等して、保護者の思いを伺っている。いただいたご意見や要望等については、会議等にて周知し共通認識を図っている。保護者に対しては、回答する機会を設けたり、質問等にも保護者の思いに寄り添いながら、丁寧に答えている。

・地域の方については、地域交流の場を通して直接話を伺うとともに、アンケートの実施をし幅広くご意見がいただけよう取り組んでいる。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

◎自然遊び

各クラスで保育に自然を取り入れたり、幼児組わくわくデー等で一斉に楽しんだりする中で、自然の面白さや不思議さに気付く機会を作り、子どもと楽しさを共有している。また、その様子や自然に関する豆知識をクイズにして親子で楽しんでもらう等、保護者にも発信し興味関心を広げる取り組みを実施している。

◎畑づくり

畑づくりに詳しい地域の方にご指導いただき、幼児組の子ども達が交流しながら野菜の栽培を行っている。職員の知識や力だけでは難しいことも、ご指導いただくことで職員のスキルアップにつながっている。できた野菜は調理師と連携を取り、給食でいただいたり、家庭に持ち帰ったりしている。野菜を持ち帰った後には、「うれしそうに見せてくれました。」「一緒に料理しました。」等の感想をいただいている。また『わが家のレシピ』等を提出いただき、野菜を持ち帰ることに留まらず、食育の一環として園全体で楽しんでいる。

◎主体的な活動

幼児組においては、行事の取り組みを子ども達と話し合い、作り上げて行く活動を大切にしている。また、普段の保育や遊びの中でも子ども達の発信を実現できるような環境作りを行っている。乳児組においては、子どもの興味関心に寄り添い、活動を広げられるよう保育に取り入れ、楽しさを意欲へと繋げている。コーナー遊びでは、遊びを自由に選択できるよう環境構成をしつつ、組み合わせさせて楽しみたいという思いを受け止めた取り組みを行っている。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

1 回 （平成 18 年度）